

# 市街地で威力を発揮する コンパクトHDD機



### 1. コンパクト推進機の開発経緯

当社は、1999年にアメリカ パーミア社と代理店契約を結び、日本国内における総代理店としてパーミア社製品の販売と、その機械を使った施工を行っています。

当社保有の機械としては、地上発進型『D24x40A』が1台と、ピット発進型『PL8000』を1台の計2台で、宮崎県内を中心に九州南部を活動範囲として工事を行っています。

現在国内で行われているHDD工法による工事は、地上発進型による施工が主流と思われますが、市街地等の工事では占用できる作業範囲が制限され、限られたスペースでの作業を要求されるのが現状です。

こういった状況の中で、当社のピット発進型『PL8000』での施工は工事発注先にも評判が良く、当社で行う工事件数の約6割はこのピット発進型による工事であり、なかにはこの機械を指定しての問合せも

増えてきております。よって今後もこの機械による工事は徐々に増えて行くものと思っています。

そういった状況のなか、パーミア社では、この『PL8000』の生産を中止しており、今後を考えたときに、後継機としてこのコンパクトHDD機を開発することとしました。

### 2. 仕様について

#### 2-1 ピット発進型『PL8000』

今回開発するコンパクトHDD機の仕様は、当社保有のピット発進型『PL8000』をベースとし、市街地における作業のしやすさを考慮した上で改良を加え、扱い易いものとすることにしました。

ピット発進型『PL8000』の仕様は、表-1の通りであり、ロッドの取外しは立坑内で運転者が手で行う（締付、緩めは機械操作）方式です。また、実績としては、φ200mm鋼管で18mの敷設実績が有り、試験



写真-1 地上発進型『D24x40A』

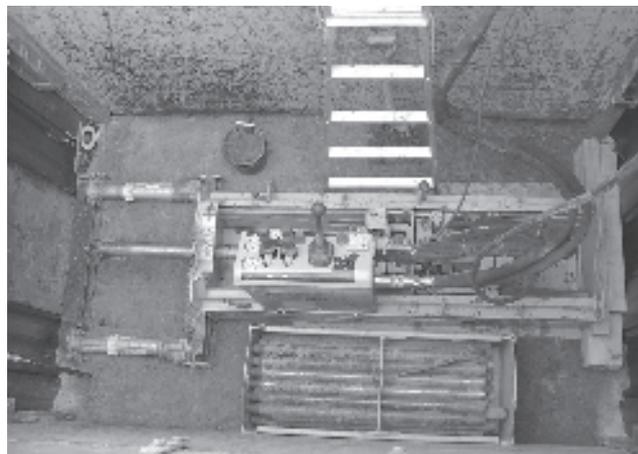


写真-2 ピット発進型『PL8000』